

2022  
Summer

# もくほん!

暑い夏が、やって来ました!

今年の夏はどう過ごすか、皆さんもう決まりましたか?  
まだ決まっていない人も、もう決まった人も、今年は  
図書館ならではの夏の楽しみ方を試してみませんか?

というわけで、今回のもくほんは『宇宙と海の本』を集めてみました。  
宇宙も海も夏が一番のオンシーズン。  
本の中での夏を思いっきり楽しんでくださいね。

それでは、『もくほん!2022 Summer』はじまります!



宇宙と海の間にある  
地上の本。

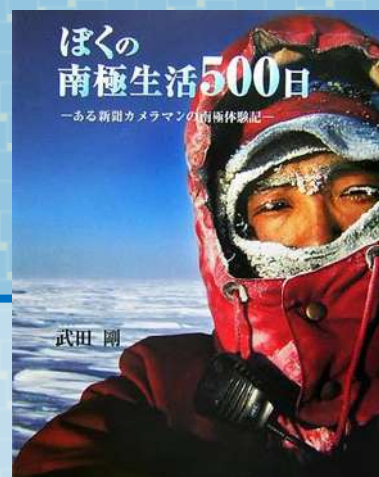
## 北極と南極の本。



297

『ふしぎな北極のせかい』  
山崎 哲秀／著  
repicbook

マイナス 40℃の世界は、ふしぎなことがいっぱい。  
犬ぞりによる北極圏での観測調査を行なう著者が、  
北極の自然や生き物、世界で一番北の町に住む  
人々の暮らしについて、多数のイラストや写真ととも  
に紹介する。



29

『ぼくの南極生活 500日』  
武田 剛／著  
フレーベル館

きびしくも美しい自然に魅了されながら、地球が  
かかえる様々な問題を肌で感じた日々。  
「地球のたからもの」を守りたい——  
45 次南極観測隊に同行した新聞カメラマンが、  
500 日間の南極越冬体験を写真とともにつづる。

『星へ行く船』

新井 素子／著 出版芸術社

森村あゆみ、19歳。<ちょっとした事情>で地球を捨て、火星へ家出中！地球から出航したと思ったら、やっかいな事件に巻き込まれ…

表題作ほか、「雨降る星 遠い夢」、書き下ろし「水沢良行の決断」、新あとがきを併録の新装版。

新井素子による全5巻のSF小説シリーズの第一巻。この機会に読破してみては？

913.6  
アライ



『プラネタリウム名解説者が教えてくれる』

よくわかる星空案内』

木村 直人／著 誠文堂新光社  
2017年刊



元・天文博物館五島プラネタリウムの名解説者が星座の探し方を紹介。星空を見るときに注意すること、誕生日の星座のを見つけ方、季節ごとの星座のを見つけ方、星座のつなぎ方などを、図や写真とともにわかりやすく解説する。

オールカラーでとても見やすい誌面。この夏は星空を堪能してみるのがいいかも！

443.8



『ぼくが宇宙人をさがす理由』

鳴沢 真也／著 旬報社

宇宙少年だったぼく。ひきこもりや数々のつまづきがあったぼくが、世界15カ国の科学者たちのリーダーになって、「宇宙人さがし」の大作戦にとりくむ——

SETI(セチ。地球外知的生命探査)をおこなう著者のメッセージ。

課題図書にもなった一冊。

440.1



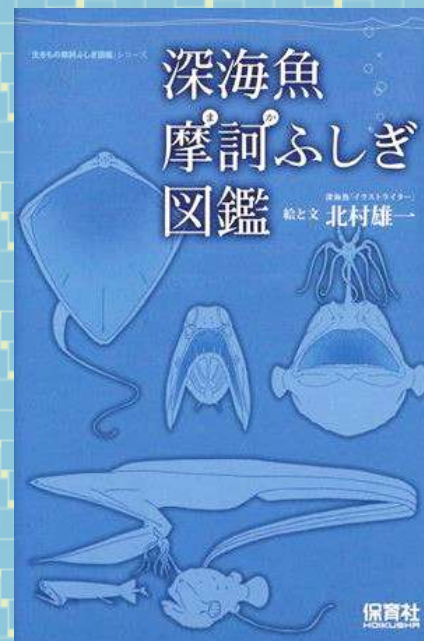
『深海魚摩訶ふしぎ図鑑』

北村 雄一／絵と文 保育社

冷たく、暗く、音のない世界で暮らす生きもの、深海生物。なんだけど。へー、意外に楽しくやってるんじゃないっ！究極のスローライフ、無駄なことは一切しないという生き方。人生(?)流されるままの深海生物の生態を絵と文で紹介。

見出しと小見出しのセンスも秀逸。それだけ読んでも十分楽しい！

481



『ほんわかクラゲの楽しみ方』

ゆらゆら、ふらふわ。眺めて、癒される。』

平山 ヒロフミ／著 誠文堂新光社  
2016年刊

眺めているだけで癒される、不思議な生き物、クラゲ。クラゲの種類と生態を「かわいい編」「おもしろ編」「きもかわ編」に分けて紹介するほか、クラゲを楽しむスポットや、クラゲを飼うためのポイントなどを紹介。

さまざまな形でクラゲの魅力を伝える活動を行っている著者による、クラゲ愛がめいっぱい詰まった1冊。涼しげな見た目のクラゲで涼をとるのもあり!?

483.3



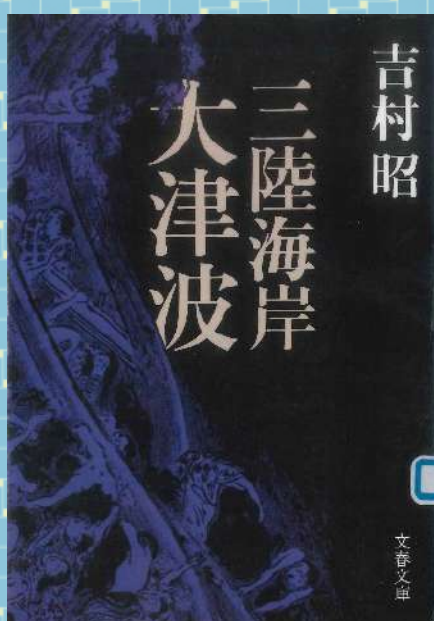
『三陸海岸大津波』

吉村 昭／著 文藝春秋

東北地方太平洋側にある三陸海岸沿の町をたびたび襲った地震・大津波について、自身の取材によって明らかになった事実を記したルポルタージュ。明治29年の大津波、昭和8年の大津波、チリ大地震大津波の3部構成である。三陸海岸各地の大津波を受けての被害状況、人々の行動を克明に記録している。

2011年に発生した東日本大震災で再評価された記録小説。

ヨ



宙と海の本。

『天地明察』

沖方 丁／著 KADOKAWA

江戸、四代将軍家綱の御代。ある「プロジェクト」が立ちあがった。即ち、日本独自の太陰暦を作り上げること——

碁打ちにして数学者の20年にわたる奮闘・挫折・喜び、そして恋——日本文化を変えた大いなる計画を、個の成長物語としてみずみずしくも重厚に描く傑作時代小説。

ウ



『千葉県立海中高校』

青柳 碧人／著 講談社

海流発電を活用した新都市計画で、東京湾の海底に千葉県海中市は作られた。それから20年が経過。海の中で生まれ育った夏波たちも、普通の高校生と同じような青春を送っていた。だが、次第に感じる陸上との距離は、心にもまで及んでくる。そんなとき、海中都市が数年で消滅するという事実を知って…

ほろ苦くもさわやかな読後感の青春小説。

ア



『クジラの彼』

有川 浩／著 KADOKAWA／角川文庫

合コンで出会った史上まれに見る高物件の彼は、次にいつ会えるかわからない潜水艦乗りだった…陸・海・空の自衛隊を舞台に描いた、男前でかわいい恋するオンナたちの、絶対元気になる最強恋愛小説全6編。

作者の緻密な取材によるリアリティ溢れる世界をぜひ味わって！

ア



# 木の図書館スタッフが選ぶ一冊！

『暗幕のゲルニカ』 原田 マハ／著 新潮社刊

913.6  
ハラタ



戦争による悲惨な様子を訴える反戦の絵画「ゲルニカ」

今から約 85 年前(1937 年)にパブロ・ピカソによって描かれた絵画で、当時スペインで起こったゲルニカ爆撃が主題となっています。

今回オススメする『暗幕のゲルニカ』は、その「ゲルニカ」を取り巻く人々の美術ミステリーです。物語は、ピカソが「ゲルニカ」を描いた当時のことをピカソの愛人であった写真家のドラ視点で、21世紀の現代をピカソ研究者であるキュレーターの瑤子視点で交互に進められていきます。実際にあった出来事を交えて作られたストーリーは、全てが本当にあったことかのようなリアリティと緊張感を感じさせてくれます。

ピカソは「ゲルニカ」を通して何を伝えたいのか。瑤子や現代を生きる人々が「ゲルニカ」にかける想いは何か。そして、著者・原田マハさんからの最大の問いとして、「ゲルニカ」は誰のものなのか。

世界で色々と辛いことが多い今、ぜひ皆さんに読んで、考えてほしい作品です。

P.N まっちゃん

## ティーンズによるティーンズのための ティーンズノート



457

『化石になりたい』  
土屋 健／著 技術評論社

この本にはいろんな化石の紹介や、化石のでき方(なり方)が書かれています。

理科、とくに地学が好きな私は二日で読んでしまいました!!!!

写真がたくさんあるので、理科が得意でない人も「ほえー」となるはずです…(?)

P.N ぱおさん

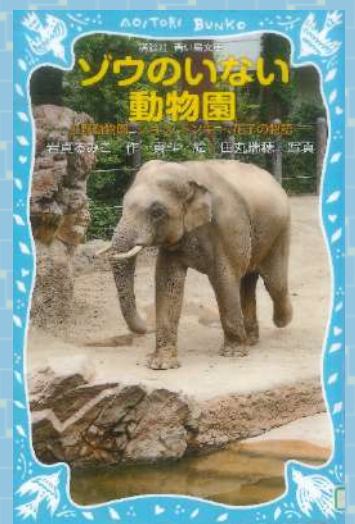
『ゾウのいない動物園』

上野動物園ジョン、トンキー、花子の物語  
岩貞 るみこ／著 講談社

イ

このお話は昔戦争のあった日本、アメリカ軍がせめてきて上からばくだんを落としてきました。そして1つの動物園にいた2ひきのゾウばくだんがおとされにげだしてあばれては大変だ!そう言われ殺さなきゃいけなくなりました。何もたべずにひっして生きているのを見てかわいそうだとあげそうになるが見ないふりをしているとついには死んでしまいます。戦争のせいで死んでいった2ひきのぞうのお話です。

P.N おばけちゃん



編集  
後記

『もくほん!2022 Summer』、いかがでしたでしょうか?今回は、宇宙と海、二つの自然についての本を特集してみました。自然に触れる機会の少ない今日この頃ですが、少しでも自然を感じてもらえたなら、うれしいです。小説とは違って、なかなか手に取る機会が少ないジャンルですので、『こんな本もあるよ!』というオススメがある人は、ぜひ TEENS ノートに書きこんで教えてください。イラストの投稿も大歓迎です!ではでは、また。次回『もくほん!』もお楽しみに!!